

【将来像・教育目標】・・・「自ら考え行動し、誠実で思いやりのある生徒の育成」

最重点目標 (KPI)	具体的目標 (数値化)	ロードマップ (戦略: 何を・いつまでに・どのように)				アクションプラン		
		2018年度	検証	2019年度	検証	2020年度	検証	考え方・内容、反省・改善策
I. 入学定員の確保 ・募集定員の確保への取組 生活デザイン科入学者を増やす 専願受験生を増やす取り組み ・経費削減への取組	1. 入学定員の確保 (280名) ・普通科Ⅱ類・Ⅰ類 ・生活デザイン科	・充足率100%		・充足率100% ・生活デザイン科の将来展望		・充足率100%		・学園の最重要課題 ・学科定員の見直し ・学科変更も視野に入れる
	2. 魅力ある学校づくり	・SWOT分析(教科別)実施、課題の洗い出し ・SPHの認定取得 ・高短連携の強化 ・地域に根差した学校づくり(SCSC活動)		・図書館の一般開放 ・中学校・塾の有効訪問件数の増加 ・校内説明会の来校者数の増加 ・丁寧な施設案内		・図書館の一般開放(地域共感) ・中学校・塾の有効訪問件数の増加 ・校内説明会の来校者数の増加		・ニーズの把握 ・競合校の比較分析 ・ブランド力の確立
	3. 広報活動の充実	・中学校・塾の有効訪問件数を増やす ・校内説明会の来校者数を増やす ・新校舎をPRした広報活動	HP更新が少ない	・HP新着ニュース掲載頻度の増加(年間60~80記事)				・魅力の発信(特色ある高校) ・外部評価
	4. 経常収支差額の黒字化 ・黒字幅10%以上	・適正な予算編成 ・各種補助金の利用		・黒字化				・アクセス数増加 ・計画的な保全改修
II. 進学実績の向上 ・校内塾の運営 ・Ⅰ類に一般入試クラス設置 ・大学入試改革対応	1. 四年制大学志望者数の増加 ・中堅私大(龍・京産・橘・佛等)合格者 ・関関同立・国公立大合格者	・志望者数 全体の50%超 ・合格人数 50名 ・合格人数 10名		・55% ・60%		・60% ・60%		・校内塾と一般入試クラスの運営指導強化
	2. 大学入試改革対応	・e-ポートフォリオ対応 ・英語資格試験対策(GTEC) (受験時期の検証など)						・2020年に向けて ・大学収支改革への対応、勉強会
	3. 基礎学力の向上 ・学習習慣の向上 ・普段の授業での学力向上	・「すらら」の利用促進 自宅学習時間を向上目標設定 ・普段の授業力向上(密度・理解力)		「すらら」の積極活用 自宅学習時間を向上(0h→2h) 学力の上がる授業の実践 シラバスの明確化		「すらら」の積極活用 自宅学習時間を向上		・数値目標の明確化、フォローの必要性 ・やりきる力 ・普段の授業力向上
	4. 進学に係る指導力向上	・進路情報交換会 第3学年と進路課 ・進路実績データの整理		・入試問題検討会 各教科で大学別に担当を決め、入試傾向を分析し情報交換 ・先進校視察(1・2年担任) 先進校の進路指導方針・進学指導のノウハウ取得 ・進路データ分析とデータ指導				多くの教員に一般入試対応の指導力習得 進路データによる進路指導
III. 教育改革の実践 ・ディプロマポリシーに沿った教育	1. ディプロマポリシー ①知識習得力②論理的思考力 ③表現力・発信力④他者との協働力 ⑤能動的問題解決力	「3年間で身に付けさせる力」について、自らの取組を表明し実践する。		・5月末までに取組を具体化				・各教員の判定基準の共通認識が必要
	2. カリキュラム改革	・新教育課程研修会等に参加 ・教育課程検討委員会立上		・教育課程検討開始(2019.2) ・審議		・審議/完成		2021年度(周知) 2022年度入学生(実施)
	3. 教科主導の授業改革 (学校改革)	SWOT分析により2017年にたてた教科目標を達成する 進捗率70%以上		・同 目標達成 進捗率100% ・新たな目標設定		・新目標に向けての取組		各教科が生徒の学力向上に責任を持つ
	4. 人材育成 ①授業力(専門教科)向上 ②各種研修の制度化 ③事務職員評価制度の運用 ④採用体制強化 ⑥生徒指導の強化	①教員同士の授業見学の義務化 ②階層別研修の制度化 ③年度内3度のヒヤリング実施 ④教諭採用方法 ⑤身だしなみ指導の強化		①FindALへ投稿(授業研究) ②中長期キャリアパス ③教員の個人評価制度 ④内定者研修による困込み・昇任基準の確立 ⑤生徒指導方法 ⑥県総合教育センター研修の活用		①FindALへ投稿(授業研究) ②中長期キャリアパス ③教員の個人評価制度		・教職員の質向上 ・授業力の向上 ・「純美禮イズム」の継承/習慣化

※中長期経営計画「すみれ2030」の期間…2018年度～2030年度とし、第1弾・第2弾・第3弾に期間区分して進捗管理する。

※学園全体の重点目標(KPI)に基づき、各部門の中期目標、ロードマップ、アクションプランを設定。中期目標項目(4つに拘らない)の増減は各部門にて考慮すること。